



# おおとりっ子

平成30年3月15日発行

## 目に見えるもの・見えないもの

いよいよ明日が卒業式となりました。卒業式の練習を見ていると、たくましく成長した6年生の姿とともに、在校生の子供たちの態度もとても立派で卒業や進級に対するやる気と期待が伝わってきます。平米小学校の「おおとりっ子」は健やかに成長しています。この時期、いつも以上に学校教育にたずさわることができるありがたさを強く感じます。

さて、今年は例年にない大雪となり、春はいつやってくるのかと心配していましたが、いつの間にか、外は春めいて、昨日は桜並木の中でコゲラやムクドリが桜の枝につかまり、何かを探しているのを見かけました。春というものはそれ自体、目に見えませんが、植物の芽や花、動物の動き、風の匂い、肌で感じる温かな日差しなど五感で感じることができます。でも、それは気持ちが動かないと気付くことができません。また、知識が無いと深く感じることもできません。

人も同じ事が言えます。人の心はもちろん、行動もすべて見えるものではありません。だからこそ、見えないこと分からないことが自分の周りにたくさんある。その中で自分は生かされているという気持ちをもつことが大切だと思います。私たちは「お陰様」「有り難う」「お互い様」という言葉をよく使います。これは、その見えないものを大切にしてきた表れだと思います。目には見えないけれど、わざわざあなたのためにやっているよとは言わないけれど、自分のためにしてくれている人達が必ずいて、今の自分がいる。だから「お陰様」「有り難う」と伝える。物事はそんな簡単には目に見えないのです。そして、自分の行為だけでなく相手も何らかの思いをもって行動してくれている。だからこそ「お互い様」なのです。

そして、その考えをもって周りを見渡すと、いろんな事が見えてくる。また、本を読んだり、体験したり、挑戦したり、人とかかわったりすることで見方も深まってくる。いつまでたっても勉強ですね。

今年度の本校の重点目標は「力を合わせて協育力を高めよう」です。力というものは目には見ることはできません。でも、一緒に取り組む事によって、安心感が生まれたり、新たな発想が生まれたり、満足感を得たりすることができます。

それは、学級でも言えます。学級という集団の中で子供たちは悩んだり、楽しんだり、一緒に取り組んだりしながらいろんな経験をしています。協働して取り組む事により、いろんな課題が生まれ、その解決に向けてまた協働して取り組む。その過程の中で満足感や充実感、自己存在感、自己肯定感が育つのではないかと考えます。人のせいにしてたり、言い訳したり、ぐずぐず悩んだりしていると前には進みません。そんなときこそ、いろんな事に挑戦し、自分の選択肢を増やし、いろんな考え方に触れると今の自分を見つめ、何ができるか何をすべきかを見つけることができるのです。

小学校という小さな集団社会の中ですが、社会人になる大切な基礎となる力を育てているのです。卒業生の皆さんには、今より少し大きな集団の中で更に磨きをかけ、立派な社会人となるようにこれからもずっと応援したいものです。また、在校生の皆さんには同じ集団ではありますが、それぞれが成長し変化しています。見えないものを少しでも見えるように感じるようになるように今後も努力を続けて欲しいと思います。保護者の皆さんには、この一年間、本校の教育についてご理解とご協力ありがとうございました。今後ともよろしく申し上げます。

## ゆず「友～旅だちの時～」より

友 今君が見上げる空は どんな色に見えていますか？

友 僕たちに出来ることは 限りあるかも知れないけれど

確かな答えなんて何一つ無い旅さ 心揺れて迷う時も

ためらう気持ちそれでも 支えてくれる声が

気付けば いつもそばに

友 進むべき道の先に どんなことが待っていても

友 この歌を思い出して 僕らを繋ぐこの歌を

明日の行方なんて誰にも分からないさ 風に揺れる花のように

確かめ合えたあの日の 約束胸に信じて

未来へ 歩いてゆくよ

遠く 遠く 終わらない夢

強く 強く 新たな日々へと旅立つ時

友 さようならそしてありがとう 再び会えるその時まで

友 僕たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いている

同じ空の下 どこかで僕たちは いつも繋がっている

